



教育目標 真剣に学び 自然や人を愛し たくましく生きる生徒



「失敗しない男」

校長 矢島 加都美

体操界で「失敗しない男」と呼ばれる萱和磨（かやかずま）選手。彼は落下などのミスをほとんどしないことで知られています。しかし、萱選手自身は「失敗しないだけでは五輪のメダルは取れない」と考え、彼は常に挑戦をし続けてきました。決勝に向けて準備していた「秘密兵器」、F難度の「ブスナリ」を演技冒頭に取り入れ、本番では見事に結果を出しました。

「攻めた構成でメダルを狙った上で失敗しないのが僕の目指すところ」と萱選手は語っています。

彼は決して身体能力に恵まれるわけではなく、基本練習を重ねることで新体操の技術を磨いてきました。萱選手の練習方法は、幼少期から感覚作りと姿勢作りに重点が置かれていて、どんなに困難な状況でも演技を中断せず、最後まで通し切る粘り強さを磨いてきました。ジュニア時代の恩師である田沼先生は、「まだ自分の筋肉で体を動かせないときはトランポリンの力を借りて、ひねる感覚、回る感覚を作ります。あとは倒立の姿勢。これはすべての種目に関わってきますからね。和磨はどうしても頭が出過ぎるような倒立をするので、『ずっと倒立の姿勢を直せ』と言っていましたね。」と語っています。また、彼は練習中に冷静な分析と没頭力を生かして、常に自己改善を目指してきました。続けて田沼先生はこう語っています。「ちっちゃいころから、しつこいくらいに練習していました。何か1つのことに取り組んでいて、できないとずっとやっていた。・・・とにかくうまくなりたいたいという気持ちは本当に強かった。」【週刊現代電子版より】



これらの練習方法や練習に対する姿勢は、彼が「ミスをしない男」として知られるようになった理由の一端を示しています。萱選手のすばらしいところは、今回のパリオリンピックで体操男子団体戦のキャプテンとしてみんなを鼓舞し続け、最後まであきらめずに団体で戦い見事逆転の末に金メダルへと導いたところです。仲間が何度も失敗してくじけそうになった時も仲間を励まし、信じ、応援し続けた姿が印象的でした。

今年度も後4ヶ月。学力も人間力も体力も高めながら自己のパワーを高めていきましょう。

授業は学習課題をつかみ、その解決に向かって一人で考えたりみんなと話し合ったりしながらゴールを探す営みです。答えを見つけることも大切ですが、その答えにたどりつくプロセスも重要な学習です。中学校生活の最終目標は卒業後の進路実現です。高校受験を目標に、学習したことを正確に思い出してテストに書き込むことが日々の学習の目標になります。学習は理解、整理、暗記の流れが大切です。基礎的なことをしっかりマスターしましょう。何度も繰り返して覚えることで、忘れることも少なくなります。授業を受け身でインプットするだけではなく、自分で学習課題を確かめて学習していきましょう。

人間力は、自分を冷静に見つめ、仲間の応援をとりつける力や自分も回りの友だちも大切にできる力のことです。学校生活の中で多くの仲間との絆を深め、お互いに高め合える、支え合える集団をさらに目指していきましょう。そして、日々成長していることを実感しながら毎日大切に生活していきましょう。

自他共栄の修学旅行

修学旅行担当 川口 慶悟 教諭

実行委員会を中心にルールづくりや計画、班長を中心に班行動計画を立てて準備に準備を重ねた修学旅行。待ちに待った修学旅行が9月5日（木）～7日（土）に行われました。

今回の修学旅行のスローガンは「習樂良功」。「習」には「学んだことを生かし、羽ばたき巣立っていく」という語源があります。「楽しく、良く学び、修学旅行を成功する」という想いが込められたスローガン。大きなトラブルもなく、好天にも恵まれ、掲げたスローガンにふさわしい3日間を送ることができました。

1日目の奈良では法隆寺、興福寺、奈良公園をめぐるしました。宿舎の夜、実行委員が準備したクイズ大会やミニゲーム大会が行われ、仲間と共に笑い、楽しい時間を分かち合いました。



2日目の班行動では奈良の宿舎を出発し、自分たちで計画したコースをめぐるながら嘉祥閣を目指すものでした。知らない地でスタートとゴールも違う班行動。班員で協力、試行錯誤しながら、どの班も日本古来の素晴らしい歴史や文化にふれることができました。途中、班員とはぐれてしまった。想定していた時間どおりに予定が進まず、見学地をカットするなどのトラブルはありましたが、事故や怪我無く、ゴールであった嘉祥閣まで全班たどり着くことができました。



能の体験学習では、映像からは感じ取ることができない「本物」の良さを肌で感じるすることができました。実際に衣装を着たり、楽器の演奏をしたりするなど、貴重な体験をすることができました。



3日目の京都でのタクシー行動では、運転手さんとのコミュニケー



ションを楽しみながら、2日目では回り切れなかった京都の地をめぐるしました。

今回、一人一人が時間をしっかりと意識し、しおりを確認しながらスムーズに行動することができたのは、1年生の時の「農村体験移動教室」や2年生の時の「校外学習・都内巡り」の経験を通して、3年生が自立した証です。3日間、奈良・京都の良さを味わいながら、楽しみつつ、同時に時間、人、物を守ることを学年全員が実践し、3年間の総まとめにふさわしい行事となりました。修学旅行で学んだこと、仲間と過ごした3日間の思い出を胸に、力強く未来に進んでいってくださることを願っています。

保護者の皆様には、行事に向けての準備など多くのご協力・ご理解をいただき、本当にありがとうございました。

農村体験移動教室

学年主任 鈴木 暢 主任教諭

朝から天候が心配されましたが、出発前には雨も降らずに出発することができました。

1日目の稲刈り体験では、雨を気にしながらの作業となり、急ぎながらも指示を聞き、懸命に刈り取り作業をすることができました。



2日目は、室内での作業や雨が止んだタイミングで畑作業などを行うことができ、どの班も充実した様子でした。



3日目に全体で集まった時には、農家の皆さんと打ち解けて持ち寄ったお弁当を食べる姿が印象的でした。

職場体験学習を終えて

担当 影山 泰明 主任教諭

9月18日(水)から22日(金)の3日間、2年生は職場体験学習を行いました。

生徒たちにとっては普段の学校生活では経験できない貴重な3日間だったと思います。また、お忙しいにも関わらず、受け入れてくださった事業所にはとても感謝しています。

事前学習では職業調べや履歴書の作成、交通経路の確認や事前訪問等を行いました。生徒たちは初めて書く履歴書の書き方に戸惑ったり、各事業所への事前電話では緊張したりする様子が見られ、我々教員の指導も一層熱が入りました。

当日からの3日間は、どの事業所の生徒も一生懸命取り組んでいました。第1回のガイダンスでも説明しましたが、今回は“職業”体験ではなく“職場”体験です。希望する職種ではなかった生徒もいたと思いますが、働くことの大変さ、あいさつやコミュニケーション能力の大切さ等、“働くとは何か”ということを少しでも学ぶことができたなら一歩成長だと思えます。

今回の職場体験学習で学んだことを、学校や地域でも生かし、今後の進路選択に良い影響を与えることを期待しています。



職業講話

担当 川野 早絵 教諭

2年生では職場体験学習の事後学習として、9月30日(月)の5、6時間目に職業講話が各教室で行われました。

読売新聞、三井住友カード、アマゾンジャパンから計5名の講師の方に来校していただき、クラスに分かれてご自身のキャリアに関するお話をしてくださいました。

中学生時代どのように過ごされていたか、どのような仕事をされているか、実際に働いてみて何が大切だと思ったのかなどについてプロジェクターを用いて詳しく教えてくださいました。生徒たちは真剣に話を聞き、時にはメモを取りながら話を聞くようも見られました。

講話では、「まわりと比較する必要はないこと」、「働くことに答えはないこと」、「自分の答えを知るのが大切なこと」などのお話があり、生徒たちはそれらの言葉に勇気づけられたことが感想文から伝わりました。将来のために今自分に何が必要なのかを考えることができる時間になったと思います。

講師の皆様、ありがとうございました。そして生徒の皆さんは今後自分自身の将来のためにさまざまなことに挑戦し、選択肢を広げ、未来の道を切り開いていってください。



合唱祭

実行委員長 服部 貴洋 教諭



10月19日（土）に、町田市民ホールにて合唱祭が行われました。

1年生の合唱は、1年生とは思えないような迫力がありました。さらにハーモニーも上手で本当にすばらしかったです。来年以降の成長がとても楽しみな発表でした。

2年生の合唱は、昨年からの成長をととても感じるものでした。どのクラスも「自分たちが一番良い合唱をする」という決意が伝わる歌声と表情でした。3年生になってもその気持ちをもって頑張ってもらいたいです。

3年生の合唱は、これぞ最上級生という完成度でした。歌詞の一つ一つに気持ちが入っていました。気持ちも歌声もぴったり息の合った合唱を魅せてくれました。素晴らしい合唱をありがとうございました。

吹奏楽部の演奏はととてもすばらしく、とても盛り上がりました。明るい曲調の演奏と合唱後の解放感が重なりホールは最高潮を迎えました。

今年のスローガンは「響歌翠月（きょうかすいげつ）」。歌声のみならず、すべての発表と拍手がホールに響き渡りました。この合唱祭をとおして育んだ学年・クラスの団結力を、今後の学校生活に活かしましょう。



頑張る真中生

「第4回町田市中学校 連合体育大会」 10月22日

於：町田市立陸上競技場（GIONスタジアム）

2年女子 4×100mリレー（青木・遠藤・カレット・バルバリス）

	1位		記録	53"96
1・2年 女子800m	3位	カレット 里那 さん	記録	2'39"49
1年男子 100m	4位	佐藤 颯太 君	記録	13"08
3年男子 1500m	4位	木原 知輝 君	記録	4'37"78
	5位	黒澤 悠隼 君	記録	4'41"40
2年女子 100m	5位	遠藤 里菜 さん	記録	14"36
1・2年 男子1500m	6位	天野 政宗 君	記録	4'44"07
2年男子 4×100mリレー（大浦・仲道・亀掛川・畠山）				
	6位		記録	49"45
2・3年 女子200m	7位	青木 和 さん	記録	30"61
1・2年生 男子走幅跳	7位	田中 廉誠 君	記録	4m51
2年男子 100m	8位	仲道 心哉 君	記録	13"01